

別紙1

感染防止安全計画

※全ての黄色セルに必要な事項を記入してください。

作成年月日 令和4年1月11日

1. イベントの情報

本項目では、計画提出の対象となるイベントの情報をご記入ください。
また、イベントのチラシや計画書等(既存資料)を併せてご提出ください。

イベント名称	明治安田生命Jリーグ、JリーグYBCルヴァンカップ、プレシーズンマッチ、天皇杯			
開催目的	Jリーグ規約第1条に定める以下のJリーグの目的を達成するため 「日本のサッカーの水準の向上及びサッカーの普及を図ることにより、豊かなスポーツ文化の振興および国民の心身の健全な発達に寄与するとともに、国際社会における交流および親善に貢献する」			
開催日時	2022年2月13日 ~ 2022年12月31日			
開催場所	会場名	県立カシマサッカースタジアム	形態	屋内・屋外併用
	住所	鹿嶋市神向寺後山26-2		
	収容定員	40,003人	電話番号	0299-84-6622
参加人数(予定)	全日程の合計 想定参加人数	520,000人		
	1日あたりの最大 想定参加人数	38,000人	最大時の収容率 (自動入力)	94.99%
大声での歓声等の有無(※)	なし	大声なしとする理由	Jリーグガイドラインに沿って声出し応援を制限	
ワクチン・検査パッケージ活用	あり			
開催概要 出演者等	主催者 公益財団法人 日本サッカー協会/公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(東京都文京区本郷3丁目10番15号 JFAハウス9F) 主管者 株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー(茨城県鹿嶋市粟生東山2887番地) 出演者等 鹿島アントラーズ・対戦チーム ※2/13プレシーズンマッチ(対水戸ホーリーホック)、2/26or2/27開幕戦(対川崎フロンターレ)以降計28試合を予定(日程確定次第情報提供予定)			
相談者 情報	施設管理者			
	団体名	株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー		
	住所	鹿嶋市神向寺後山26-2		
	代表者名	小泉文明	担当者名	萩原智行
	現在の 電話番号	0299-84-6622	メール アドレス	hagiwara-tmy945@antlers.co.jp
	イベント終了後の 電話番号	0299-84-6622		

(※)大声の定義を「客が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

次のページにお進みください。

2. 具体的な対策

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

<チェック項目>

- 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

(※)大声の定義は「客が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

<具体的な対策>

[記載項目(例)]

- マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
 - ・ マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知(チケット購入時の約款に明記等)
 - ・ 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
 - ・ 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画
- 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫(演者からの呼びかけ等)

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(※)」に沿ったマスク着用、声出し応援制限を致します。

- ・ ホームページ、コンコース上などの場内での掲示(76箇所)、大型映像装置・場内放送等で周知
- ・ 試合中は、スタッフ(最大8人体制)が、感染対策についての注意事項を記載した案内板を持って、観客席を巡回するとともに、必要により個別注意
- ・ 注意をしてもマスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客に対してはJリーグ試合運営管理規定第7条に基づき退場措置を命ずる。

※ Jリーグ所属クラブは、下記Jリーグの定める「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を遵守致します。

https://www.jleague.jp/img/pdf/2021_1214_01.pdf

(適宜更新し、Jリーグ公式サイトで公開致します。)

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す。(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液設置や場内アナウンス等の実施)
- 主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。

<具体的な対策>

[記載項目(例)]

- 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施・フォローアップ
- 施設内の消毒箇所、消毒頻度の整理
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ、マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿った消毒、清掃、並びに衛生管理を致します。

- ・ すべての入口(VIP入口、一般入場ゲート6箇所、障害者席入口、選手入口、報道関係者入口)、全ての使用する部屋(計45箇所)に、手指消毒液を設置
- ・ 消毒液の残量を試合前日のタイミングで確認し、試合当日は都度、補充し残量切れを防止
- ・ 観客に対して、スタッフがスプレータイプの消毒液を手指に噴射
- ・ 場内掲示、大型映像装置等により手洗い・手指消毒等を呼びかけ

次のページにお進みください。

③換気の徹底

<チェック項目>

- 法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又は、こまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上）の徹底

<具体的な対策>

- 個別施設の設備に応じた換気計画の策定
 - ・ 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定
 - ・ CO2 測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認する手法の検討・実施
 - ・ 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿った換気の管理を致します。
・スタジアム内の諸室は常に扉を開放したうえで、室内の換気扇を常時ONとして換気を徹底、コンコース上の医務室や授乳室などは常時換気にて実施
・選手移動バスについても換気を徹底

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- 入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施
- 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築
- 大声を伴う可能性のある催物では、前後左右の座席との身体的距離の確保

<具体的な対策>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫、個別施設の設備に応じた換気計画の策定

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿った入退場・動線管理、席配置、列整理等の対策を致します。
・ソーシャルディスタンスを保ち10人程度に列を区切って入場させる。
・入場ゲート前で拡声器を使用してソーシャルディスタンスの確保を促す。
・売店前、入場ゲートなどの行列場所にマーキングし、ソーシャルディスタンスを確保
・選手バス到着時に迎え・応援のサポーターが密にならないようスタッフを配置し密とならないよう呼びかけ

次のページにお進みください。

⑤ 飲食の制限

<チェック項目>

- 飲食可能エリアにおける感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)の徹底
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛。ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 飲食中は、マスク無しでの会話禁止を徹底
- 自治体の要請に従った飲食・酒類の提供(飲酒提供時は、大声等を防ぐ対策を検討)

<具体的な対策>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿った飲食時の感染防止策、自治体要請に従った飲食・酒類の提供を致します。
・コンコース上が密となることを防ぐため、観客席での飲食を可能としているものの、試合前からスタッフを巡回させ、「飲食時以外のマスク着用」、「飲食中のマスク無しでの会話禁止」を徹底
・売店前等の行列場所にマーキングを行い、ソーシャルディスタンスを確保

⑥ 出演者等の感染対策

<チェック項目>

- 有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する。
- 練習時等、催物開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する。
- 出演者(演者・選手等)と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。

<具体的な対策>

- 日常から行う出演者等の健康管理方法の検討
 - ・ 出演者の必要に応じた検査の実施
 - ・ 健康アプリの活用等
- 演者・選手等と観客の接触防止策(動線計画・ファンサービスの自粛等)の策定、演者・選手及び観客双方への呼びかけ、開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携(駅付近の混雑度データを踏まえた増便等)による誘導計画

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿った選手・スタッフの健康管理、スタジアム等での感染対策を致します。
・選手、チームスタッフの毎日定時、スタジアムへの移動出発時(試合エントリ可能な選手・チームスタッフ)の体温を測定・報告を義務付け、審判員は到着時に体温測定・報告を義務付け
・選手、チームスタッフは週2回(毎週月～水曜日に1回、木～日曜日に1回)抗原定性検査を実施
・ファンとサポーターが接触するイベントは実施しない
・選手への取材は原則オンライン対応とする。

次のページにお進みください。

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- 「5つの場面」の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起
- いばらきアマビエちゃん感染防止対策宣誓書の掲示
- 入場時の連絡先確認やCOCOAアプリ等を活用した参加者の把握
- 入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止し、有症状者(発熱又は風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常からの出演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する。

<具体的な対策>

- チケット購入時の参加者の連絡先把握
- COCOAやいばらきアマビエちゃんによる来場者情報の把握・管理手法の確立(アプリのQRコードを入口に掲示すること等による具体的な促進措置の導入)
- 直行・直帰等の催物前後の感染対策に関する具体的な措置
 - ・ 会場での直行・直帰の呼びかけ、警備員による公共交通機関への誘導等
- 検温・検査実施のための体制・実施計画
- 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備
- 混雑度データを踏まえた増便等による誘導計画

(記載欄)

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」に沿ったチケット購入者・来場者の管理、来場時の感染対策を致します。
・「5つの場面の注意喚起」や「いばらきアマビエちゃんの感染防止対策宣誓書」を場内18個所に掲示するとともに、大型映像装置、場内放送により呼びかけ
・電子チケット(一般客)、Googleフォームの入力(VIP、スタッフ等)により来場時間を把握
・選手バスの到着時間を記録
・全入場口で検温を実施。37.5度以上の観客は入場を断る。
(HPや入場ゲートで37.5度以上は入場できないことを表示している)

回答はここまでです。以下3～4は、該当する場合のみ記載してください。

3. ワクチン・検査パッケージに関する実施計画

※ 緊急事態措置やまん延防止等重点措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率50%超での開催をしようとする場合に記載

※ 「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」を確認の上、下記について、実施の有無をチェックしてください。

- 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」のいずれも対象としている。
 - 抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要項」に従い、適切に実施している。
 - その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。
- ◎ 実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

(記載欄)

・政府の認定するPCR検査/抗原定量検査/抗原定性検査/LAMP法/SmartAmp法での、認可された機関・キットでの事前検査
・当日現地での検査は基本実施しない

◎ 「ワクチン接種歴」及び「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

<p>(記載欄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象受付ブースまたは窓口での証明書(紙・デジタル)と本人確認書類の確認。確認後に入場引換券または専用リストバンドの配布、または観戦チケットへの確認印を押印し、ゲート等でも確認する ・6歳未満の者は、対象チケットを保持する保護者と同伴の場合は、証明なしで観戦チケットのみで入場可(座席を必要としない乳児はチケット不要) <p><具体的な確認の体制(現時点想定、変更可能性有り)></p> <p>ワクチン接種歴及び検査結果の確認者数想定：最大30,000人/試合</p> <p>対象受付ブース・窓口の確認箇所：全ゲート、VIP 以上7箇所</p> <p>対象受付ブース等の確認時間：試合開始3時間30分前～</p>
--

4. 専門家との調整状況 ※専門家の事前確認を受けた場合に記載

<p>助言を受けた専門家:</p>	<p>NPB・Jリーグ専門家チーム 東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 賀来 満夫 特任教授 ほか</p>
<p>主な助言内容:</p>	<p>NPB・Jリーグで専門家チーム・地域アドバイザーを設け、定期的に情報交換、アドバイス、ガイドラインの監修等をいただいております。</p> <p>※2021年12月時点 専門家チーム 賀来 満夫 東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 特任教授 三嶋 廣繁 愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 教授 館田 一博 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 教授 地域アドバイザー 高橋 聡 札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 教授 遠藤 史郎 東北医科薬科大学病院感染制御部 部長 國島 広之 聖マリアンナ医科大学感染症学講座 教授 遠藤 史郎 東北医科薬科大学病院感染制御部 病院教授 掛屋 弘 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授 大毛 宏喜 広島大学病院感染症科 教授 泉川 公一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野 教授</p>